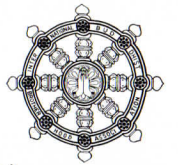


日本寺ニュースレター



Nipponji news letter

2017年（平成29年）6月発行
（公財）国際仏教興隆協会

＝◆北河原公敬印度山日本寺竺主晋山奉告法要厳修のご報告◆＝



去る平成29年1月21日、ブッダガヤ日本寺に於いて印度山日本寺第六竺主に就任した北河原公敬東大寺長老の晋山奉告法要が厳修されました。法要には、東大寺ご一山はじめ総勢約80名の方々が、ご参列されました。

まず世界遺産大菩提寺に拝参・誦経と釈尊御成道の金剛宝座聖菩提樹下で晋山報告の誦経の後、大菩提寺正門から輿に乗って行列でのお練りで日本寺へ。沿道の人々が合掌する中を鑊と法螺貝の音色を響かせながら、日本寺までの約800メートルをお練りしました。

日本寺では、中村康雅理事長はじめ事務局員、駐在僧らが出迎えのもと、輿を下乗し鐘楼での大梵鐘に続き、歴代竺主の遺骨遺品を納めた顕彰供養塔壇で献香し法灯承拝の誦儀。旗を振って歓迎する菩提樹学園の園児たちに迎えられ本堂に進むと、タイ、チベットなどのブッダガヤ隣山会代表僧衆比丘衆による国際色豊かな慶讃誦経の大ハーモニーに迎えられ、着座惣礼、竺主登壇ののち改めて華嚴の法式で執り行われました。

飛鳥天平の奈良を彷彿と夢想させずにはおかない雅な法式で、不思議と日本寺本堂が天平勝宝の仏教伝来大仏開眼の場に変幻しました。

北河原竺主は就任の挨拶の中で、仏教会はじめ日本全国の皆様へ日本寺の活動の広報活動に力を注ぐとともに、宗教福祉事業、学術事業を通して日印交流のために精進していくことを誓われました。



仏教学東洋学研究所 (Institute of Buddhist and Oriental Studies=略称 IBOS) の建設が開始されました。建築計画のうち図書館部分の建築となります。着工に先立ち、1月21日北河原竺主晋山奉告法要後、起工式が行われました。北河原竺主による誦経後、北河原竺主、中村理事長をはじめ参加者による鍬入れが行われました。現在、2017年10月の完成を予定し建設工事中です。



3月24日、卒園式が行われ68名の園児が卒園を迎えました。予行演習を重ねた園児たちは、当日保護者が見守る中、ひとりずつに授与される卒園証書と記念品としての小学校通学用のかばんを満面の笑みで受け取りました。卒園児全員が地元NGO校や公立校など初等教育校への入学を果たしました。

4月1日、新学期の始まり。3月の進級テストに合格した園児はそれぞれ年中組、年長組へと進級しました。新たに3歳児、35名が入園を迎えました。新園児は日中親元から離れ、早速お絵かきや学習に励んでいます。

5月20日、1学期修了式が行われました。酷暑の真ただ中となるこの時期から1か月の夏休みに入ります。子どもたちの勉強の習慣がなくならないよう年少組には「ぬりえ」、年中組には「アルファベットを書く」、年長組には「アルファベットで家族の名前を書く、ヒンディー語の文字練習」などの宿題が出されます。



協会事務局員・駐在僧が卒園証書を授与



クラスのみんで卒園記念撮影



初めての集合写真に少し緊張気味の新入園児

§ 卒園式前日の最後の特別給食 §

菩提樹学園での最後の給食となる卒園式前日は、特別メニューです。

この日は、プーリー（平たい揚げパン）とカレーとみんなが大好きなキール（ココナッツミルクと牛乳、干しブドウ、刻みココナッツ、カルダモンが入った甘い乳粥）。うれしそうに頬ばる園児たち。



修了式での園児の代表による献花

現在休診中の光明施療院ですが、医療機関設置法の改定や予算面で今まで通り患者数無制限の診療・無料投薬再開は困難と判断いたしました。光明施療院へ主軸となって支援を賜っている公益社団法人全日本仏教婦人連盟様と協議を重ね、今年度中には、新たな形での医療支援への方針を整えることができるよう努めてまいります。

かわしま こうめい

川島 宏明(臨済宗妙心寺派 妙心寺知勝院) 駐在期間:2016年10月15日~2017年3月30日

日本寺の朝は夏季は5時から、冬季は6時からの朝のお勤めから始まります。ここで、冬季?と思われる方もおられると思いますが、私もそうでした。インドにも冬はあるんです。12月後半から2月中旬までは意外と寒く、日中でも12、3度までしか上がらない日がありました。

お勤めは、お経を30分、座禅を30分という内容です。そして、朝食を食べ、8時からは日本寺の現地スタッフ達と朝礼をします。この時に、般若心経などのお経と一緒に詠むのですが、スタッフの中には、お経を暗詠できるスタッフもあり、嬉しい驚きでした。

朝礼が終わってからは、菩提樹学園の園児たちが登園し始め、賑やかになってきます。私と会うと元気よく「ナマステ、先生」と、自分から声をかけてくれる子供もいれば、こちらが声をかけても恥ずかしそうにして、うつむいたまま私の横をすり抜けて行く子もあり、微笑ましくありました。

日中というのは、ブッダガヤには世界各国の仏教寺院があるので、法要に参加させて頂き、その後、各国の僧侶と共に昼食を頂きました。また、



日本寺境内を彩る四季折々の花

日本からの団参の対応や、個人旅行をされている方とお話しをしておりました。何もない日は、境内を見回りながらスタッフからヒンディー語を教

てもらったりしました。また、本堂の裏にはタラチャンというスタッフが手入れをしている綺麗な花が咲く庭があり、綺麗な花に似合わない大きな体で、手入れをしてくれるのが印象的でした。そして、夏季も冬季も5時から夕方の一時間のお勤めで日本寺の一日は終わります。お勤めが終ると夕食を食べ、そのあとは自由に時間が使えますのでお釈迦様がお悟りになられた場所にあるマハボディー寺院にお参りに行かせて頂いたり、小腹が

空くとチベット料理やブータン料理などの食堂でお腹を満たしました。

マハボディー寺院には、常に世界各国の僧侶や仏教徒がお参りに来られていました。五体投地をしながら大塔を廻っているチベット僧侶や信者、思い思いに坐っている本当に色々な国の僧侶や仏教徒や観光客がおりこんなにも仏教が広く信仰されているのだと感動しました。

私が駐在中の1月2日から12日間、ダライ・ラマ法王がブッダガヤでカーラチャクラ灌頂をされていた時は、ブッダガヤの街には2万人ほどのチベット仏教の僧侶に世界各国のチベット仏教徒が集まりました。マハボディー寺院だけでなくブッダガヤの街には、チベット仏教の特徴である小豆色の衣を着た僧侶で溢れ、チベット仏教がこんなにも世界各国で信仰されているのには驚きました。



カーラチャクラ灌頂時ダライ・ラマのもとでの読経

日本寺での朝晩のお勤めは、誰も来ない時もあれば二十人近く来られた時、日本からのツアーで大人数で来られることがありました。参加される方は、多国籍で日本人は意外に少なく、ヨーロッパからの方が多かったように感じました。その中には、日本の禅宗に詳しい方もおり驚きでした。内容は、日本寺が宗派を超えてのお寺なので般若心経、観音経といった私の宗派で詠むお経もありましたが、それぞれの宗派で詠むお経もあり新鮮に感じました。読経のあとは座禅をします。驚いたことに海外の方でも、日本の禅宗の座禅を経験したことがある方や、日本仏教について詳しい方がおり、逆に海外の方に教えていただくこともあり大変勉強になりました。

日本寺での生活は約6ヶ月と短い期間ではありますが、有意義に過ごすことができました。日本ではできないような経験、出会うことがないであろう人々、また、インドの地で日本の他宗派の方との交流ができました。このような経験は、日本寺でしかできないと思います。これから、日本で僧侶を目指す方には、是非日本寺に駐在して頂き、貴重な経験をして頂きたいです。



佐藤 良純 (大正大学名誉教授・浄土宗光円寺住職) 駐在期間:2016年11月9日~12月27日

デリー大学で3年間を過ごしてから57年ぶりに日本寺2ヶ月間準駐在員を務めさせていただきました。1959年ブッダガヤにはマハーボデイソサエテイとビルマ寺があるのみでしたが、今は数多くの寺が立ち並んでいます。出入自由であった金剛宝座も柵で遮られ近づけません。ただ参拝者は何十万にもなりホテル、土産物店も道の両側を埋め尽くしています。チベット系インド人、タイ、スリランカ、ミャンマー、中国から多くの人々が訪れるが日本人は数えるほどです。



日本寺参拝のベトナム大使一行と(中央が筆者)

日本寺の境内からは160人もの園児のにぎやかな声が聞こえます。

12月8日に行われた成道会の遊戯会には歌、踊り、劇に多くの父兄も集まりました。お土産をもらって帰る園児はとてもうれしそうでした。

冬の大菩提寺(大塔)では毎日大法要がありパーリ語、チベット語、中国語の経典が唱えられる。皆白い服装でローソク、お線香を自分の国からもってきます。料理人も連れてきてホテルで特別食を作ります。

ホテルの数も大幅に増えたがほとんど満室で日本寺にも泊めてほしいと多くの問い合わせがあります。

夜は9時まで大塔にお参りできるのでイルミネーションに照らされる大塔は昼間とは全く違う美しさを見せます。アショーカ王柱の上に硬貨をなげ、うまく乗ると幸せになるというので皆夢中です。境内には多くのボランティアがいてマナーを守るように呼びかかっています。

前正覚山、スジャータ塔を訪れる人も多く、道も快適です。ガヤのビシュヌ寺を訪れる人は少ないがヒンドゥー教徒にとってこの寺のビシュヌ神の足跡に参り頭をつけて祈る人々で、足そのものはいつでも見えません。ガヤの町は祖先崇拜として全インドから巡礼が訪れます。インド全体、交通機関、道路、宿泊施設が日本と同じになりおとずれやすくなりました。

＝◆日本寺駐在員赴任のお知らせ◆＝

川島駐在僧が3月に離任してから日本寺駐在僧が不在となっておりますが、2017年9月から1年間の予定で加藤泰惇師、林寿和師の2名が新たに日本寺に駐在することとなりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

加藤 泰惇 (臨濟宗妙心寺派 寶樹院)

いま、私は鎌倉の円覚寺僧堂で修行中の身でございます。今年の7月末まで修行させていただく予定です。この度はご縁を頂きましてブッダガヤの地で自らを研鑽できることを大変有り難く存じます。大学卒業後、インドに10日間旅行をした事がございます。日本語を話せる現地ガイドさんと共にインドの東側をブッダガヤも含めて観光しました。当時の私にはインドがとても繁雑なものに映り、都市と田舎、裕福と貧困、全く異なる文化と人間模様に圧倒されて10日間を瞬く間に終えてしまいました。



その時から年月を経て、円覚寺でお世話になり修行生活をした私にはインドの景色が全く違う色に映るでしょう。旅行と違ってブッダガヤの地に身を置くことで、そこに訪れる方達にじっくり向き合ったり、信仰の在り方、瞑想などについて深く学ぶことができるでしょう。日本の佛教界が支える日本寺で駐在員として自己研鑽に励みたいです。

林 寿和 (真言宗山階派 釈尊寺徒弟)

皆様初めまして。今般ご法縁をいただき印度山日本寺に駐在させていただく事となりました林寿和と申します。私が仏教に初めてふれたのは13才、中学生一年の冬でした。祖母が他界し、葬儀に来られたお寺さんに仏様の話を聞いた事がきっかけです。そこからご縁をいただき、仏教とは?僧侶とは?と興味をもちました。

私の家は霊峰高野山の麓にあり、中学卒業後迷うことなく高野山高校の宗教科に進学し僧侶の卵となりました。仏教経典を学んでいくとインドの風土や儀礼などの表現が多々出てきます。菩提樹や雨季の安居、ガンジス川など、例を挙げだすときりがありません。経典の内容を身体で感じてとり、お釈迦様がどのようにご修行されたのかを実感し、自らの修行の糧にできるようにと思っています。

私自身至らぬ所が多々あるかと思いますが、お釈迦様への報恩行、自らの修行として精進させていただくつもりです。どうぞよろしくお願いいたします。



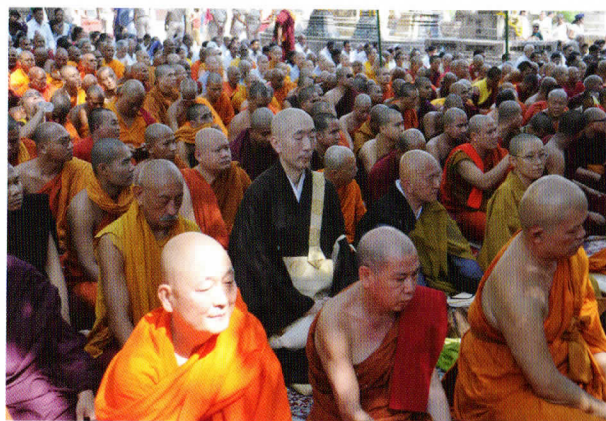
ブッダジャヤンティは、インド歴5月の満月の日に行われる国民の祝日でお釈迦様の誕生と、成道（お悟を得られたこと）と、初転法輪（教えを初めて説いたこと）と、涅槃（亡くなられたこと）の4大事をまとめて祝う行事です。今年も、5月10日に行われました。仏教徒最大のイベントとなるこの日、ブッダガヤは世界各国からの参拝者でにぎわいます。毎年ブッダジャヤンティに参加している元駐在僧の番地章夫師にご寄稿いただきました。

照譽章夫(元日本寺駐在僧)

Buddha Jayanti 2561 2017年5月10日水曜日

釈尊の地上に於ける偉大な善行の証拠、足跡が、印度に存在していることは、周知の如し。

ブッダジャヤンティは、釈尊の誕生を記念し祝い讃える事の重大性や意義に満たされている。この行事を通じて、人生上の成長や生育が自覚され、努力や励みによって、現今の生活を支える。また、釈尊伝記の強さ、重要性を強調し、佛教の持つ深みある原理、教理見解、指図というものを供給し、提供している。



釈尊の遺風である成道遺跡地から、広く繊細に遍く、慈愛、慈悲、親切等の利益と恩恵を安全に保証する意味は有意義、崇高なものである。故に一切の源は具体的にこのブッダジャヤンティの中に意味を持つといえる。

「由於佛教宏偉精深・富包容性・、由於釋迦佛陀確實為歷史人物・、由於佛陀人格（亦即佛格）至高無上、究竟圓滿・、使這些異說互無衝突・不相妨礙。譬如・1956年泰國和柬埔寨參加了印度紀念佛滅2500年法會・於翌年・即1957年他們又根據自己國家所傳的西元前543年說舉行了佛滅2500年紀念法會。又如・南傳佛教各國和中國西藏、蒙古以及雲南上座部佛教地區・都把佛陀的誕生、出家和涅槃的日子・定於每年的4月15日・為月圓日・名衛塞節（Vaicakha）・、用以紀念和象徵至高無上的偉大的佛陀具足圓滿一切功德」と。佛歴紀年に関して、前中国佛教協會會長・中国廬山東林寺方丈・傳印法師が、佛歴生卒年に関する諸説について、佛教の富包容性、釋尊の至高無上、究竟圓滿の佛格により、異説相互の衝突が不相妨礙であるという事を、『福原隆善先生古稀記念論集佛法僧論集』の中にその見解を述べておられる。佛教の興隆という事を思う時、各國各派の仏教徒が共に祝い、讃じ、記念し念じるこのブッダジャヤンティの果たす役割は大きく、またその功德も計り知れない。因みに今年の気温は45度前後であった。

日・名衛塞節（Vaicakha）・、用以紀念和象徵至高無上的偉大的佛陀具足圓滿一切功德」と。佛歴紀年に関して、前中国佛教協會會長・中国廬山東林寺方丈・傳印法師が、佛歴生卒年に関する諸説について、佛教の富包容性、釋尊の至高無上、究竟圓滿の佛格により、異説相互の衝突が不相妨礙であるという事を、『福原隆善先生古稀記念論集佛法僧論集』の中にその見解を述べておられる。佛教の興隆という事を思う時、各國各派の仏教徒が共に祝い、讃じ、記念し念じるこのブッダジャヤンティの果たす役割は大きく、またその功德も計り知れない。因みに今年の気温は45度前後であった。

合掌和南。



事務局より

任期満了に伴い顧問・参与が改選されました(敬称略)

2017年3月第18回理事会にて選任、任期2017年4月1日～2019年3月31日(2年)

顧問:伊藤真聰 伊藤唯眞 稲山靈芳 上村貞郎 大谷光真 川端健之 小林正道 菅原信海 田中昭徳
常磐井慈祥 正本乗光 南澤道人 嶺 興嶽 山田一眞 (14名)

参与:安藤 晃 飯塚大幸 市川智康 大野海雲 岡本永司 日下悌宏 澤田晃成 西村七兵衛 能登正晴
安田松慶 横山照泰 小坂機融 中西玄禮 野間秀昭 (14名)

ご寄附いただきました方々の御芳名 敬称略 (平成28年11/1~平成29年3/31まで)

寄付金100万円以上

東京都
目黒区 巖谷勝正
武蔵野市 光専寺
立川市 真如苑
奈良県
奈良市 大本山薬師寺

護持会費10万円以上

東京都
港区 泉岳寺
八王子市 高尾山薬王院
神奈川県
鎌倉市 円覚寺
鎌倉市 大佛殿 高德院
静岡県
函南町 (一社)オアシスの会

護持会費

岩手県
盛岡市 石ヶ森道弘
宮城県
仙台市 星 松岳
長泉町 瑞巖寺
福島県
白河市 松本光代
茨城県
取手市 共生保育園
取手市 本願寺
栃木県
日光市 桑門秀光
群馬県
前橋市 森巖寺
前橋市 金剛寺
前橋市 西光寺
桐生市 淨運寺
埼玉県
東松山市 清涼山曹源寺
所沢市 山口観音金乗院
熊谷市 鈴木英全
鳩山町 金澤寺
千葉県
柏市 佐々木利夫
柏市 南龍寺
東京都
千代田区 神田寺
中央区 (株)日本香堂
ホールディングス
港区 妙定院
港区 (株)彩石
台東区 圓珠院
台東区 白川良行
台東区 角岡和江
台東区 田中昭徳

台東区 金龍山浅草寺
台東区 (株)翠雲堂
台東区 北川一有
文京区 傳通院
文京区 佐藤良純
北区 金剛寺
北区 新井京子
墨田区 古屋良子
江戸川区 泉福寺
江東区 永岡喜美子
江東区 長専院
江東区 善徳寺
江東区 雲光院
江東区 眞尾 茂
品川区 常行寺
大田区 自性院
大田区 妙安寺
目黒区 浦野泰子
世田谷区 眞福寺
新宿区 西光庵
中野区 岡本照代
杉並区 光明院
杉並区 醫王寺
新宿区 玄國寺
豊島区 小野塚幾澄
豊島区 小山敬次郎
練馬区 寿福寺
小平市 岡野昭
立川市 伊藤真聰
立川市 長塚充男
立川市 堀越瑤盛
八王子市 極楽寺
八王子市 溝辺 了
八王子市 関谷敷
町田市 大橋正明
西東京市 淨心寺
清瀬市 圓福寺
神奈川県
川崎市 教安寺
川崎市 熊坂 正
川崎市 熊坂加代子
横浜市 野澤隆幸
横浜市 西有寺
横須賀市 田賀龍彦
横須賀市 飯塚博道
鎌倉市 櫻井 誠
鎌倉市 円覚寺
鎌倉市 米山公武
伊勢原市 大宝寺
新潟県
長岡市 阿部昭次
上越市 小山長孝
山梨県
身延町 松本光華

長野県
上田市 大輪寺
松本市 玄向寺
松本市 正麟寺
塩尻市 西福寺
駒ヶ根市 安楽寺
伊那市 光久寺
塩尻市 興龍寺
塩尻市 興龍寺護持会
岐阜県
本巣市 慶円寺
高山市 大下大圓
八百津町 今井随祐
静岡県
熱海市 誓欣院
富士市 秋山富美子
富士市 八木やち代
函南町 鎌田シゲ子
静岡市 感應寺
静岡市 松下純子
焼津市 光心寺
沼津市 山本幾雄
沼津市 山本教子
裾野市 (株)七栄
三島市 坂井則子
三島市 勝俣要子
三島市 山梨明子
清水町 川合照美
清水町 鈴木睦夫
長泉町 稲田ときえ
愛知県
豊田市 高野山崇修院
名古屋市 神野哲州
津島市 宇治谷 顕
南知多町 萩原賢良
三重県
松阪市 樹敬寺
滋賀県
大津市 横山照泰
大津市 雲住寺
近江八幡市 池上良慶
草津市 佐々木昭道
東近江市 浄栄寺
甲賀市 溪 恒雄
京都府
京都市 番地章夫
京都市 西村七兵衛
京都市 丸西宗教織物(株)
京都市 北山安夫
京都市 田邊さやか
京都市 矢田寺
京都市 伏見誓寛
京都市 宇佐美直治
京都市 永観堂禅林寺

京都市 稱念寺
京都市 白藤雅一
長岡京市 乗願寺
精華町 大竹辨学
大阪府
大阪市 法善寺
大阪市 平岡英信
大阪市 梅旧院
大阪市 大念寺
大阪市 井桁雄弘
吹田市 小野政子
枚方市 原 芳嗣
枚方市 小川眞乗
交野市 堀本賢順
東大阪市 堀内ゆり子
兵庫県
神戸市 淨福寺
西宮市 碓 雄神
姫路市 河野太通
加東市 清水谷善英
奈良県
奈良市 麴谷 漣
奈良市 法相宗宗務所
奈良市 大本山薬師寺
奈良市 山崎英治
奈良市 船津喜美子
五條市 北山硯子
王寺町 福井昭典
平群町 成福院
平群町 千手院
島根県
出雲市 総本山一畑寺
岡山県
倉敷市 圓乘院
山口県
下関市 三蓮寺
山口市 法明院
長門市 上山大峻
愛媛県
松山市 正安寺
高知県
高知市 花岡正覚
福岡県
宗像市 承福寺
太宰府市 石田琳彰
佐賀県
多久市 専称寺
基山町 大本山吉祥寺
長崎県
長崎市 山浦道子
佐世保市 壽福寺
一般寄附 10万円以上
東京都

町田市 大橋正明
大阪府
大阪市 石田 秀
奈良県
奈良市 北河原公敬
奈良市 大本山東大寺
奈良市 北河原公慈
香芝市 ミナミヨシハル

一般寄附

山形県
上山市 土田秀穎
中山町 毛利俊行
福島県
白河市 渡邊宗徹
本宮市 石雲寺
茨城県
茨城町 井野瀬孝子
栃木県
宇都宮市 hasunoha
三川町 鯨 照子
群馬県
桐生市 祥雲寺
桐生市 青蓮寺
埼玉県
さいたま市 延命寺
千葉県
千葉市 光明寺
船橋市 西福寺
船橋市 鈴江晃代
東京都
千代田区 西遊旅行
千代田区 松元 崇
中央区 橋本明
中央区 松浦豊巳
港区 斎藤和音
港区 藤澤克己
台東区 末廣久美
台東区 岡本圭示
台東区 日比野郁皓
文京区 永瀬富士子
文京区 佐藤雅彦
北区 興楽寺
北区 高野年章
板橋区 高木宏昌
葛飾区 下村達郎
墨田区 正福寺
江東区 赤堀菊枝
江東区 渋谷効民
江東区 安孫子虔悦
大田区 河原時子
渋谷区 飯田順子
渋谷区 (公社)全日本仏教婦人連盟

目黒区 岡田カヨ子
 目黒区 関澤健
 世田谷区 轟木洋子
 世田谷区 正法寺
 世田谷区 常徳幼稚園
 世田谷区 ガッツ・
 リンシャル・有香
 新宿区 吉田日光
 杉並区 加古晴子
 杉並区 近藤仁美
 新宿区 大陸旅遊
 豊島区 小山敬次郎
 練馬区 丹治京子
 練馬区 神谷裕子
神奈川県
 横浜市 三枝博子
 横浜市 Kayo Suzuki
 横浜市 鳥居孝順
 鎌倉市 吉田正道
福井県
 越前市 田中 茂
静岡県
 沼津市 勸山光明
 熱海市 海福寺
 伊東市 花岳院
 富士市 篠田節子
 静岡市 中村康雅
 函南町 今仁節子
愛知県
 名古屋市 宮野清恵
 知多市 神谷初枝
 春日井市 蓮蔵院
 一宮市 来薫院
三重県
 東員町 田中利幸
京都府
 京都市 細身昌代
 京都市 番地章夫
 京都市 有馬頼底
 京都市 田中早苗
 京都市 壬生寺
 京都市 筑波宣子
 京都市 勸修寺
 城陽市 来迎寺
大阪府
 大阪市 平山眞史
 大阪市 寺本憲生
 大阪市 清原夏樹
 大阪市 (株)ユナイテッ
 ドツアーズ
 吹田市 北河原公仁
 堺市 柴田ゆかり
奈良県
 奈良市 加藤 肇
 奈良市 松井みち子
 奈良市 木村修子

奈良市 橋村公英
 奈良市 筒井英賢
 奈良市 井久保和雄
 奈良市 倉本堯慧
 奈良市 北河原周子
 奈良市 北河原宗子
 奈良市 北河原州子
 奈良市 藤井素子
 奈良市 川崎芳枝
 奈良市 高木敏治
 桜井市 小林恵美子
広島県
 尾道市 藤原達祐
山口県
 岩国市 辻谷修一
 宇部市 末永博子
 長門市 刀禰映子
愛媛県
 松山市 加藤由加利
長崎県
 諫早市 宮崎清彰
仏教学東洋学研究所
東京都
 北区 新井京子
 調布市 光照寺
神奈川県
 横浜市 林 芾子
愛知県
 名古屋市 山岸赳夫
 常滑市 光泉寺
光明施療院100万円以上
東京都 (公社)全日本
 渋谷区 仏教婦人連盟
光明施療院
茨城県
 取手市 共生保育園
 取手市 本願寺
埼玉県
 八潮市 菊池東実
 川越市 蓮馨寺
千葉県
 船橋市 高橋節子
 船橋市 高橋一夫
東京都
 北区 新井京子
 江東区 子安一宏
 立川市 松本圭司
 立川市 堀越瑤盛
 八王子市 岡部早苗
 西東京市 浄心寺
神奈川県
 川崎市 熊坂 正
 川崎市 熊坂加代子

横浜市 薬王寺
 横須賀市 飯塚博道
岐阜県
 美濃市 小森恒子
静岡県
 静岡市 浄土宗静岡教区
 寺庭婦人会
 小山町 山口和夫
滋賀県
 東近江市 関正見
京都府
 京都市 番地章夫
 京都市 栗本徳子
 京都市 白藤雅一
 京都市 臨濟宗妙心寺派
大阪府
 吹田市 小野政子
 高槻市 祝原圭子
 堺市 柴田ゆかり
奈良県
 田原本町 櫻井忠春
菩提樹学園100万円以上
東京都 (公社)日本
 港区 仏教保育協会
菩提樹学園
宮城県
 仙台市 清野幸雄
茨城県
 取手市 共生保育園

取手市 本願寺
栃木県
 足利市 金井隆久
群馬県
 高崎市 永津貴大
埼玉県
 埼玉市 菊池東実
 八潮市 高橋節子
千葉県
 船橋市 鈴木淑枝
東京都
 港区 新井京子
 北区 古屋良子
 墨田区 子安一宏
 江東区 加藤喜美
 新宿区 寿福寺
 練馬区 堀越瑤盛
 立川市 岡部早苗
 八王子市 浄心寺
 西東京市
神奈川県
 川崎市 三好茂子
 川崎市 熊坂 正
 川崎市 熊坂加代子
 横浜市 薬王寺
 横須賀市 飯塚博道
新潟県
 柏崎市 飯塚眞弓
岐阜県
 美濃市 井川昭栄
静岡県
 小山町 山口和夫

伊豆の国市 松本香代子
愛知県
 小牧市 稲垣覚正
滋賀県
 甲賀市 高原綱平
京都府
 京都市 寂光院
 京都市 白藤雅一
 京都市 臨濟宗妙心寺派
 宮津市 松本慧光
大阪府
 大阪市 橋野久子
 大阪市 大念寺
 吹田市 江崎道子
 吹田市 小野政子
 高槻市 祝原圭子
 堺市 川上初枝
 堺市 柴田ゆかり
兵庫県
 西宮市 後藤美恵子
奈良県
 奈良市 麴谷 澗
 奈良市 山崎英治
 広陵町 谷本憲治
 広陵町 谷本伸子
 田原本町 櫻井忠春
福岡県
 宗像市 承福寺
長崎県
 長崎市 葉山茂実

皆様からの温かいご支援に心より御礼申し上げます。

寄附者ご芳名の公表ならびに芳名版の掲示について

日本寺本堂芳名版 護持会費等
 菩提樹学園芳名版 ペアレントメンバー
 光明施療院芳名版 診療奉仕の会

1万円以上
 ご寄附の方

ご寄附を賜りました方々のへの感謝の意を表しまして御芳名を各施設芳名版に掲示いたしております。(各年度毎に更新)



ご支援のお願い

当協会ではインド・ブッダガヤへの更なる福祉活動の推進を図るため、印度山日本寺運営をご支援いただく護持会員、ならびに菩提樹学園、光明施療院の運営をご支援いただくサポートプログラムを設けております。

現在、財政的支援の減少により事業運営が厳しい状況に陥っています。どうか、皆さまの温かいご支援をいただきたくお願い申し上げます。

◆ 護持会員のご案内 ◆

年会費 個人会員:5,000円 法人会員:10,000円 維持会員:100,000円(いずれも1口以上)

◆ ヒューマンサポートプログラムのご案内 ◆



- ・菩提樹学園年間ペアレントメンバー 年会費:10,000円
- ・園児1人の文具代3,000円・1クラス(35名)分の給食代1,000円
- ・光明施療院サポート:10,000円



プログラムの他、任意の金額でご寄附をお願いしております。Webサイトからクレジットカードでのご寄附も可能です。菩提樹学園年間ペアレントメンバーを3年間ご継続いただいた方には記念品を贈呈致します。

▽郵便振替▽ 00110-4-5493 加入者名 公益財団法人国際仏教興隆協会

▽銀行振込▽ 三菱東京UFJ銀行 中目黒支店 普通預金 0127885 公益財団法人国際仏教興隆協会

※平成24年度より内閣府の認定を受けた公益財団法人として運営され御寄附頂きました金額は「税額控除」「所得控除」の対象となります。

写経会のご案内

祐天寺様のご協力のもと、写経会を毎月開催いたしております。

まず祐天寺本堂で法要・法話ののち、「般若心経」をお写経いただきます。お写経の後、お時間のある方に粗茶のご用意がございます。お仕事帰りの方やご家族でのご参加など、幅広い年齢層の方々にお越しいただいております。どうぞお気軽にご参加ください。

ここでお納めになったお写経は、ブッダガヤの世界遺産大菩提寺での納経奉告の後、日本寺本堂で納経法要を厳修し納経いたします。

事前申込み・道具は不要です。毛筆・筆ペン・ボールペン・鉛筆をご用意しております。

【開催日】2017年 8/18 9/8 10/6 11/10 12/8 (金)18:00~20:00 (17:30受付開始)

【場所】祐天寺 書院(東京都目黒区中目黒5-24-53)

【内容】法要・法話・写経 ※開催時間中途中参加も可能 【納経料】2,000円(ご寄附として頂戴します。)

【アクセス】東急東横線祐天寺駅徒歩5分、JR恵比寿駅より用賀行バス祐天寺前



公益財団法人国際仏教興隆協会

webサイト<http://www.ibba.jp/> 随時更新中!

印度山 日本寺

検索



@indo_nipponji



ibbajp

フェイスブック・ツイッターも更新中

※webサイトをお持ちの会員様は、リンクさせていただきます。
メール(jimukyoku@ibba.jp)でホームページURLをお知らせ下さい。



前号(2016年11月号)訂正のお知らせ

竺主就任記事文章中、誤りがございました。
昭和48年(1973年)2月の日本寺本堂落慶



昭和48年(1973年)12月の日本寺本堂落慶
へ訂正させていただきます。

編集発行

公益財団法人国際仏教興隆協会

〒153-0061

東京都目黒区中目黒5-24-53

TEL03-3711-7608 FAX03-3711-7673

e-mail:jimukyoku@ibba.jp

<http://www.ibba.jp/>